

プロテクトシル® CIT

鉄筋腐食抑制タイプ RC 構造物用含浸系表面保護材

プロテクトシル® CIT [Protectosil® CIT] は、RC 構造物用の鉄筋腐食抑制機能を有する含浸系表面保護材です。本材は、主成分のアルキルアルコキシシランにアミノ基を化学結合させることにより、コンクリート表面に塗布するだけで深く浸透し、その外観を変えることなく塩化物イオンの侵入を阻止する吸水防止層を形成するとともに、鉄筋の廻りに保護層を形成し腐食を抑制します。

特 長

1. RC 構造物における内部鉄筋の腐食を長期間抑制します。
2. 鉄筋に保護層を形成します。
3. 塩化物イオンや酸性雨等の劣化要因の侵入を防ぎます。
4. 透明な 1 材の液体で素材の外観、質感を変えません。
5. 塗布するだけなので施工が容易にできます。
6. 無溶剤タイプで環境に優しい材料です。
7. 上塗りの施工が可能です。(養生期間をご相談ください)

用 途

- 鉄筋コンクリート構造物のほとんどの部位に使用することが出来ます。特に橋梁の各部位、建築物の外壁・バルコニー、駐車場、栈橋及び海洋構造物等。
- 断面修復等の補修後の再劣化防止。
- 新設鉄筋コンクリート構造物の予防保全。

使用量

- 塗布量が 600 mL/m^2 になるようにご使用ください。
- 塗布施工は垂直面で平均 3 回以上、水平面は平均 2 回以上に分けて行い、その時の施工間隔は指触乾燥後(20 分以上)としてください。(塗布回数は下地により変わる事があります。)

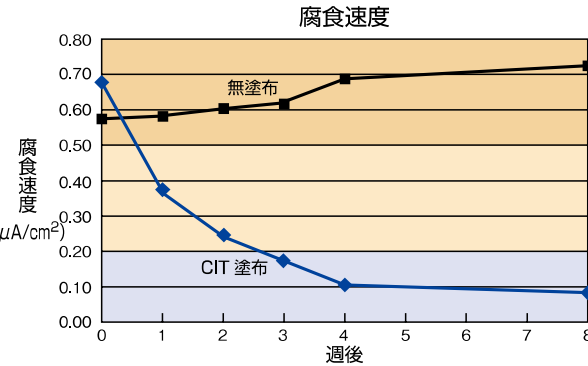
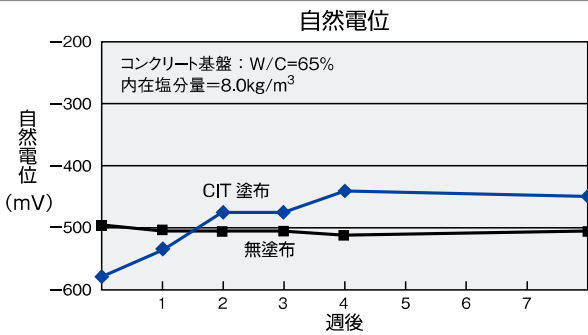
使用方法

1. 施工面は高圧洗浄等により油脂、汚れ、塵垢等を除去して清浄な面にしてください。また欠損部やひび割れは、予め補修モルタル等で補修してください。
2. 施工面は乾燥面としてください。(表面水分率 8% 以下推奨)
3. 施工はスプレーガンやローラー、刷毛を用いて均一に塗布してください。尚、吹付けには、一般塗布用のエアレスタイプの吹き付け機器等を使用し下部から上部に向かって施工してください。

施工上の注意事項

1. 使用前に容器を良く振ってから使用してください。
2. 水等での希釈をして使用しないでください。
3. 施工気温は $5 \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲で施工してください。尚、雨天(施工後 4 時間以内に雨が予測される場合も含む)及び強風の時には施工しないでください。
4. アスファルトに付着すると、アスファルトを軟化させる恐れがありますので、養生を行ってください。

物性試験結果例



腐食速度の判定

腐食速度 ($\mu\text{A}/\text{cm}^2$)	腐食速度の判定
>1.0	激しく高い腐食速度
0.5～1.0	中～高程度
0.2～0.5	低～中程度
<0.2	不動態状態

腐食速度：CEB（ヨーロッパコンクリート委員会）
「Strategies for Testing and Assessment of concrete Structures Affected by Reinforcement Corrosion」

試験方法：プロテクトシル CIT 塗布前の測定を0週とし、翌日プロテクトシル CIT を塗布した。

東・中・西日本高速道路（株）「構造物施工管理要領（平成24年7月）シラン系コンクリート表面保護材」

要求性能	性能照査	基準値	試験結果
外観変化	外観変化	外観を変化させないこと	含浸による外観変化がない
含浸性	供試体での含浸深さ	4.0mm以上	7.5mm
塩化物イオン侵入阻止性	耐候性試験後の塩化物イオン浸透抑制率	90%以上	100%
透水および吸水阻止性	透水抑制率	透水を抑制すること	86%
	吸水抑制率	吸水を抑制すること	89%
水蒸気透過性	透湿性	透湿性を有すること	85%

注）使用量：0.6 ℓ / m²

使用及び取扱上の注意事項

1. 保管は0℃以上～40℃以下の室内にしてください。
 2. 密閉した室内で使用する場合は、十分に換気してください。
 3. 目に入った場合は、浄水で十分に洗浄し、専門医の診察を受けてください。
 4. 誤って飲み込んだ場合は、水または、牛乳を飲ませただちに専門医の診察を受けてください。
- ※詳しくは安全データシート（SDS）をご参照ください。

包装形態

17ℓ/缶